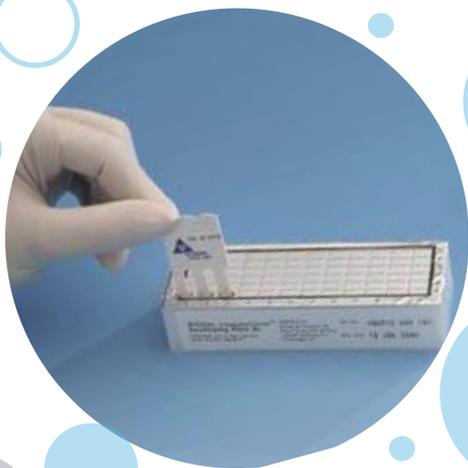


動物用医薬品
体外診断用医薬品

ジステンパー/犬アデノ/犬パルボウイルス
IgG抗体検出用検査キット



for Evidence-Based Vaccination
エビデンスに基づいたワクチネーション

■ ワクチネーションガイドライン

コンセプト

動物に優しい獣医療の提供のため、ワクチネーションによる副作用の発生率軽減及び最適なプログラムの作成を目指して、様々なワクチネーションガイドラインが提示されてきました。世界小動物獣医師会 (WSAVA) から発表された犬と猫のガイドライン (以降ガイドライン) は、2024年に最新版が公開されています。

ガイドラインは最新の科学的知見に基づいており、臨床獣医師がより安全にかつ免疫学的に正しいワクチネーションが出来る様に作成されています。ガイドラインでは、科学的アプローチによってワクチンをコアワクチン、ノンコアワクチン及び非推奨ワクチンに分類し、過剰接種の抑制を図ることが提唱されています。

WSAVAによるワクチンの分類

(犬と猫のワクチネーションガイドライン 日本語訳より抜粋)

コアワクチン

(致死性が高く、すべての個体に接種)

- ・ジステンパーウイルス(CDV)
- ・犬アデノウイルス(CAV)
- ・犬パルボウイルス(CPV)
- ・狂犬病
- ・レプトスピラ(条件付き)

ノンコアワクチン

(致死性が低く、生活環境により頻回接種)

- ・犬インフルエンザウイルス
- ・パラインフルエンザウイルス
- ・ボルデテラ
- ・ボレリア(ライム病)

非推奨ワクチン

(接種は正当化されていない)

- ・犬コロナウイルス

ワクチネーションプログラム

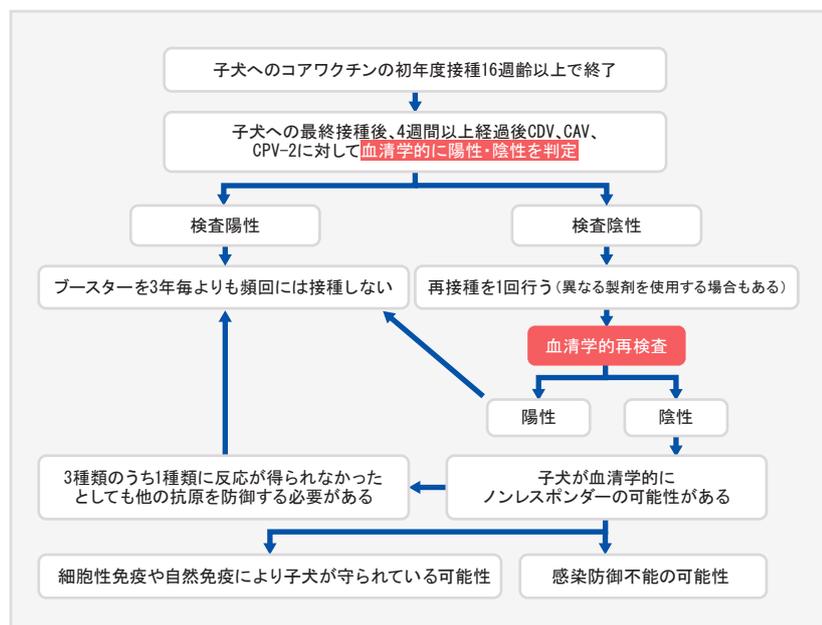
コアワクチンをプログラムに沿って全ての犬に接種します。

抗体検査の重要性

ガイドラインでは十分な抗体があればコアワクチンについてはワクチネーションが不要であり、ワクチン接種の時期の参考とするために血清学的検査が有用であるとしています。また、ワクチンに潜在的に反応しない個体(ノンレスポンドー)に犬用ワクチンチェックを使用する事も可能です。

年1回のワクチンを、抗体検査を含む年1回のヘルスチェックに切り替えることを推奨しています。

WSAVA (<http://www.wsava.org/guidelines>)
ワクチンチェック HP (<https://vaccicheck.jp>)



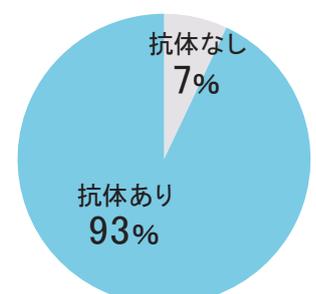
(WSAVA Vaccination Guidelines 2024 より 抗体検査に関する項目を赤色で示してあります。)

子犬の血清学的検査のフローチャート

抗体の陽性率

犬用ワクチンチェックのキットを使用して抗体陽性率を調査した論文が、2017年にイギリスで発表されています。

図) Long-lived immunity to canine core vaccine antigens in UK dogs as assessed by an in-practice test kit. Killey R, et al. 2017



3コアワクチン抗体陽性率
(混合ワクチン接種から3年以上経過している犬の場合)

犬用ワクチチェックは、 院内で判定できる検査キットです (23分)

- 製品名：犬用ワクチチェック
- 対象動物：犬
- 使用期限：製造後15か月
- 貯蔵方法：2～8℃
- キット内容

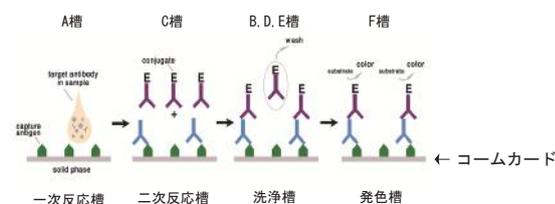
	12検体用	120検体用
コームカード	1枚	10枚
反应用プレート	1個	10個
ピンセット	1本	1本
コームスケール	1枚	1枚
使用説明書	1部	1部



測定原理

・キットは、抗原を添着したコームカード、二次抗体、洗浄槽、発色剤などを封入した反应用プレートで構成されています。

・ DOT-BLOT ELISA法を用いた半定量検査



判定基準

スコア3の陽性及び陰性カットオフ値は、コーネル大学の判定基準に基づいています。

■CDV 中和抗体価 32 倍 ■CAV 中和抗体価 16 倍 ■CPV HI 抗体価 80 倍

性能試験成績(ウイスコンシン大学など)

	感度	特異度	一致度	
CDV	100.0%	88.9%	96.5%	n=230
CAV	95.4%	93.0%	95.2%	n=208
CPV	90.6%	96.5%	91.7%	n=228

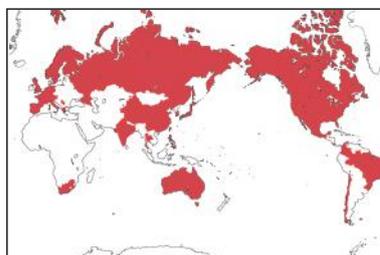
CDV及びCAVは中和抗体価、CPVはHI抗体価との比較 (2007～2014ウイスコンシン大学シュルツ他)

特異性試験(ウイスコンシン大学)

狂犬病、犬インフルエンザ、パラインフルエンザ、犬コロナ、ボルデテラ、レプトスピラ各ワクチンによる抗体には反応しないことが証明されています。

ワクチチェックの世界展開

米国・EUなど30か国以上で使用されています。



使用方法

■検体量 血清、血漿…………… 5 μ L EDTAまたはヘパリン処理全血……………10 μ L



1 コームカード、反応用プレート及び被験血液を 20 ~ 25°Cに戻す。



2 付属のピンセットでA槽のアルミカバーを開け検体を入れる。数回ピペティングして混和する。



3 コームカードを検体の数だけ切り取る。



4 開封したA槽にコームカードを差し込み、5分間浸漬する。途中上下に数回小刻みに動かす。



5 B、C、D、E、F槽へと同様の手順でコームカードを移動させる。次の槽に移す際は余分な液をティッシュペーパーなどの上に静かに振り落とす。

<各槽における浸漬時間>

A槽:5分 B槽:2分 C槽:5分
D槽:2分 E槽:2分 F槽:5分
E槽:2分(発色反応を停止するため)

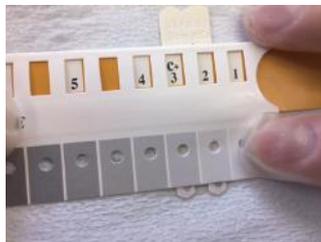
判定方法

■コームカードのスポットの説明

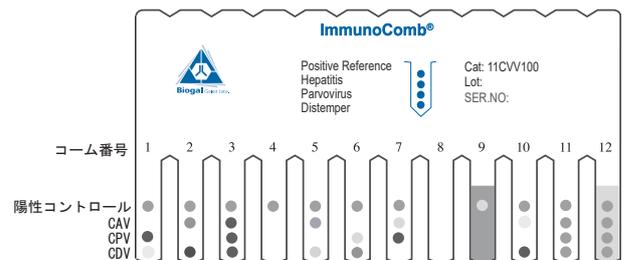
コームカードの「歯」部分には根本から順に陽性コントロール、CAV、CPV及びCDVの抗原液が添着されていて、各スポットの濃淡の濃さを陽性コントロールと比較し判定する。

■コームスケールの使い方

- ・陽性コントロールのスポット濃淡をコームスケールのC+3に合わせる。
- ・各スポットのスコアを読み取る。
- ・スコア3以上：陽性
- ・スコア3未満：陰性



【結果判定例】



コーム番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
陽性コントロール	スコア	3	3	3	3	3	3	3	-	-	3	3	3
CAV	スコア	0	4	≧5	0	≧3	0	1 or 2	-	-	<1	≧3	≧3
	判定	陰性	陽性	陽性	陰性	陽性	陰性	陰性	再検査	再検査	陰性	陽性	陽性
CPV	スコア	≧5	0	≧5	0	0	1 or 2	≧5	-	-	0	≧3	≧3
	判定	陽性	陰性	陽性	陰性	陰性	陰性	陽性	再検査	再検査	陰性	陽性	陽性
CDV	スコア	<1	6	≧5	0	1 or 2	4	0	-	-	≧5	≧3	≧3
	判定	陰性	陽性	陽性	陰性	陰性	陽性	陰性	再検査	再検査	陽性	陽性	陽性

【製造販売元】



スペクトラム ラボ ジャパン株式会社

東京都目黒区緑が丘1-5-22

<https://vaccicheck.jp>



【販売元】



シグニ株式会社

東京都江東区東陽3-7-13

<http://www.cygni.co.jp>

VacciCheck/ワクチチェックはスペクトラム ラボ ジャパン株式会社の登録商標です。